

第1章 白山市の現況

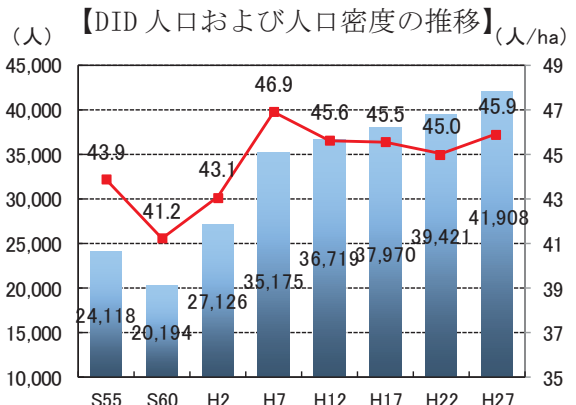
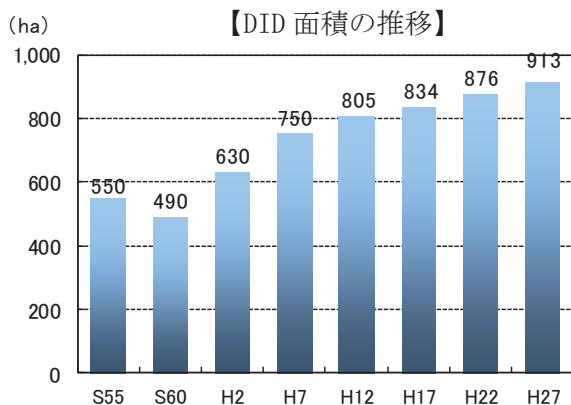
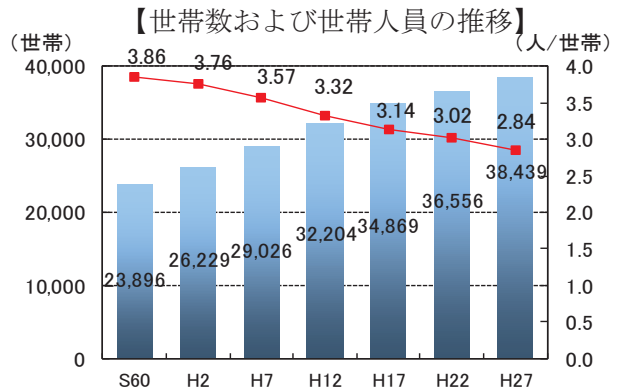
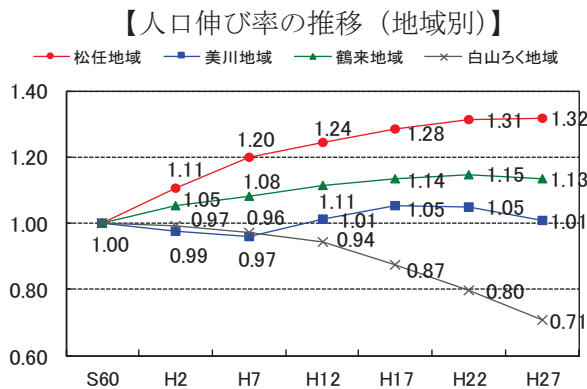
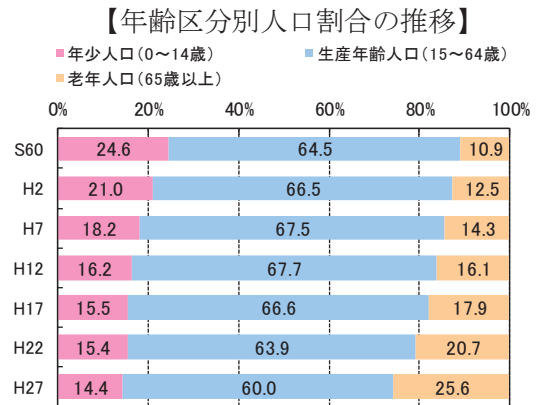
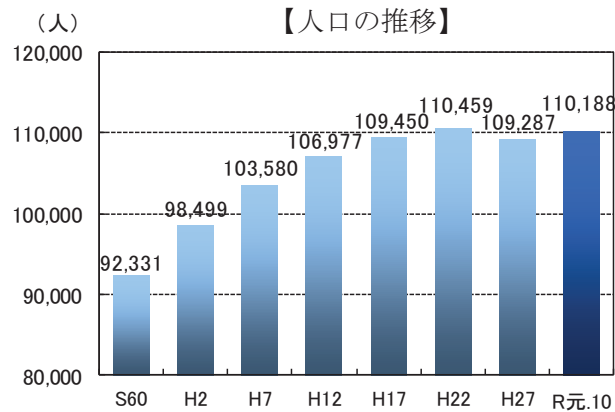
1. 統計データなどからの白山市のあらまし

(1) 人口

白山市の人口は平成27年の国勢調査では109,287人であり、近年は人口の増加が鈍化していましたが、平成27年国勢調査以降、住民基本台帳ベースでは約900人の人口増加がみられる状況です。年齢区分別人口の推移では、老年人口の増加が続いており、高齢化の進行が続いている状況です。

地域別では、市町村合併後の最初の調査である平成17年国勢調査と比較し、松任地域の人口が微増を続けている一方で、美川・鶴来地域は減少に転じており、白山ろくは減少が続いています。世帯数は増加が続いており、世帯人員は減少が続いています。

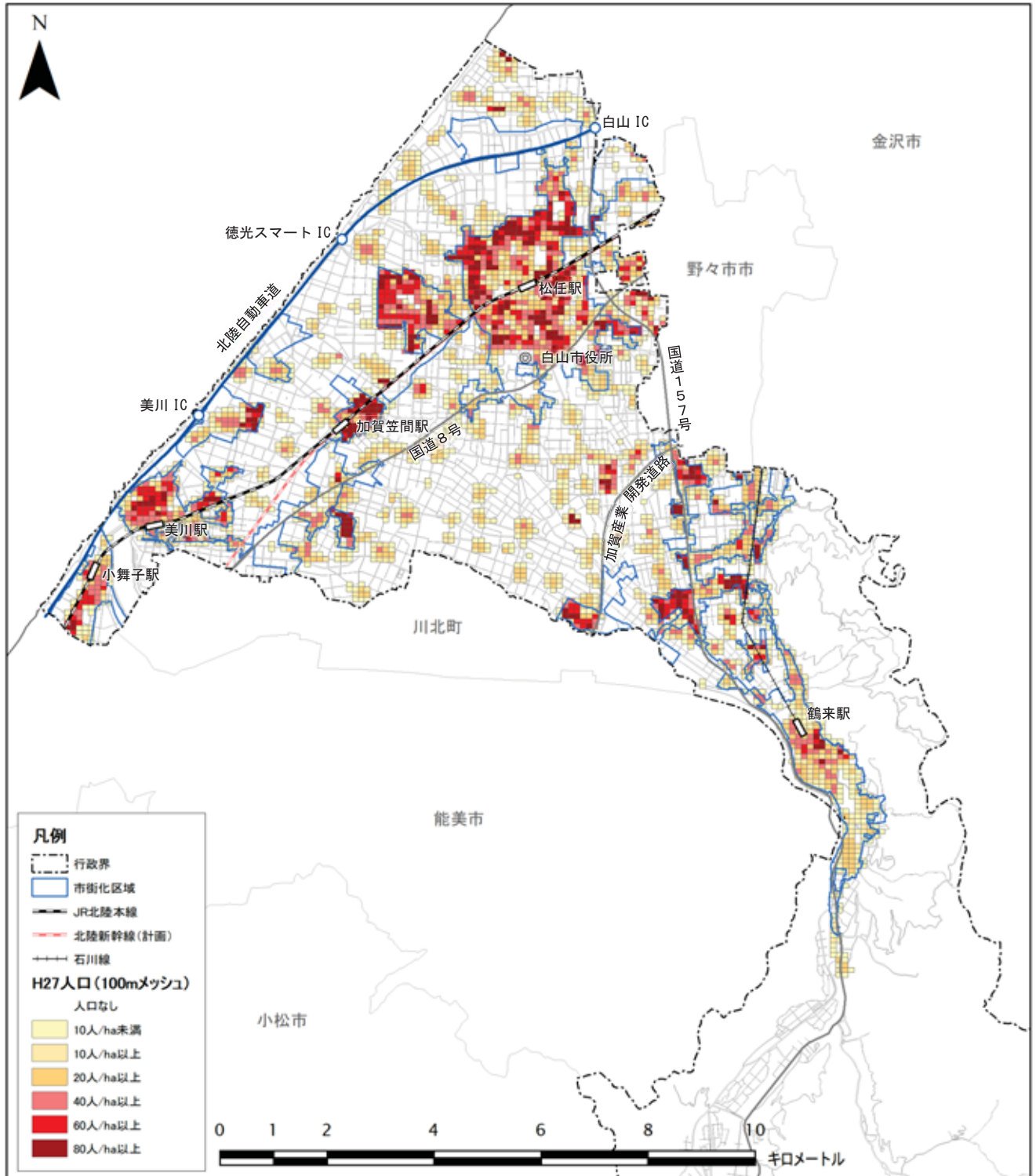
DID面積は昭和60年に鶴来地域でDIDが消滅して以降、松任地域において増加が続いており、DID人口は増加傾向、DIDの人口密度は横ばい傾向にあります。



松任駅・美川駅・鶴来駅を中心に、市街地が形成されています。また、千代野や加賀笠間駅周辺においても、まとまった市街地が形成されています。

鶴来地域の国道157号沿道などにおいても、市街地が形成されています。

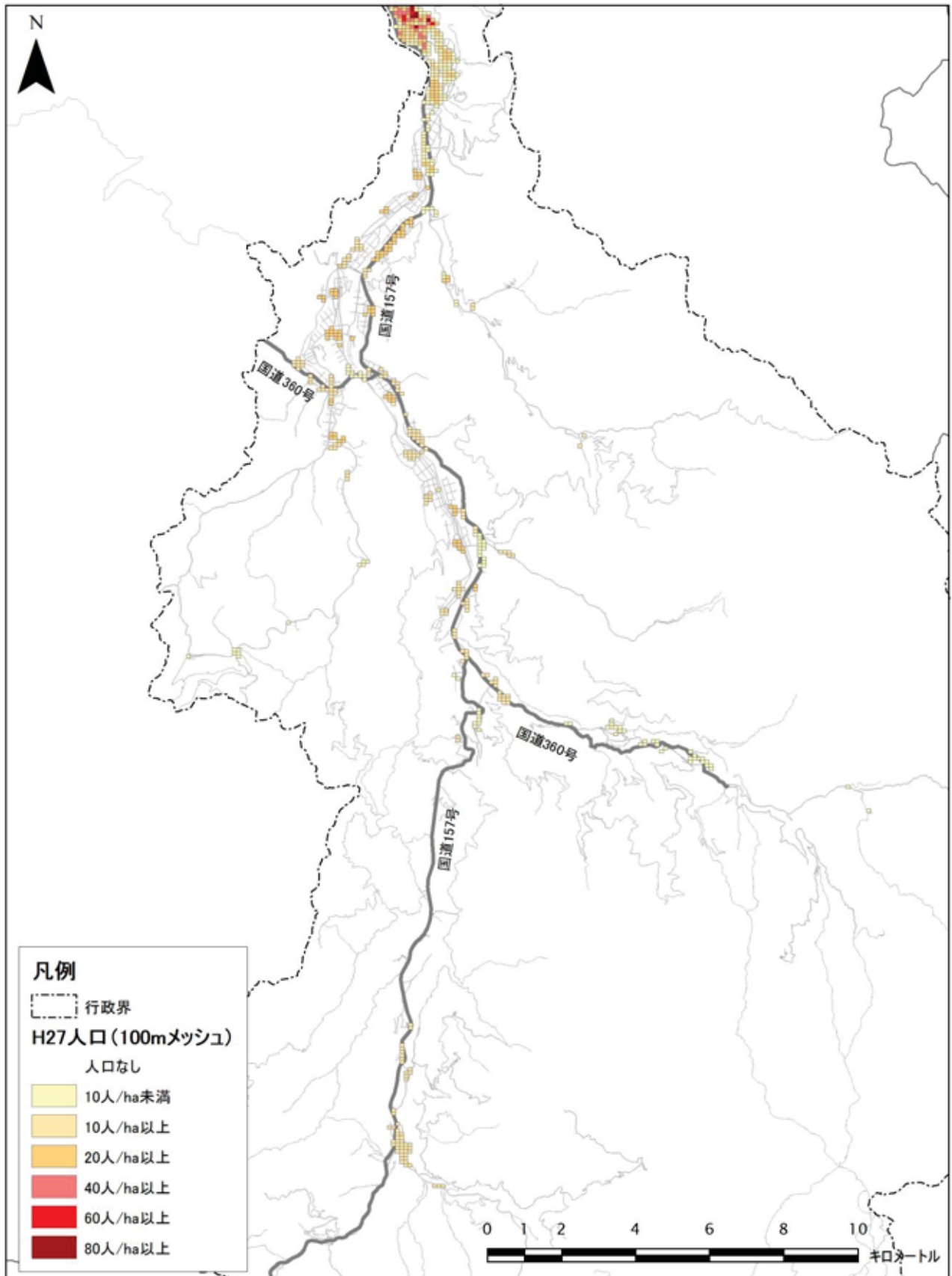
【人口の分布（平野部）】



出典：国勢調査（H27）、白山市都市計画基礎調査

白山ろく地域では、河内・吉野谷の国道157号沿い、鳥越の幹線道路沿いなどにおいて、集落が点在しています。白峰においては、地理的な条件からまとまった集落が形成されています。

【人口の分布（白山ろく）】



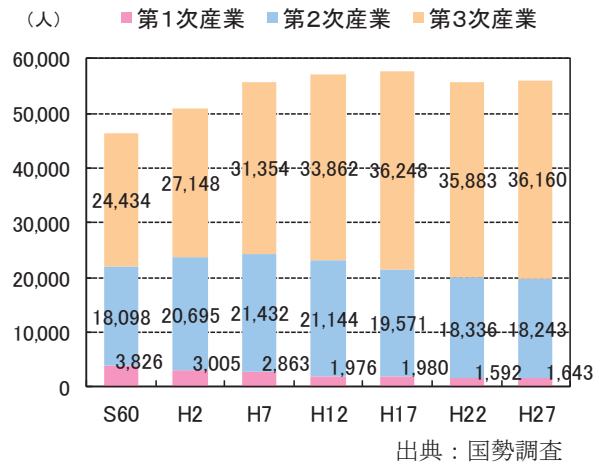
出典：国勢調査（H27）、白山市都市計画基礎調査

(2) 産業

① 産業人口

第1次産業は減少が続いていましたが、平成22年から27年にかけて増加がみられています。第2次産業は横ばい、第3次産業は増加に転じており、総就業人口についても、平成22年から27年にかけて増加がみられています。

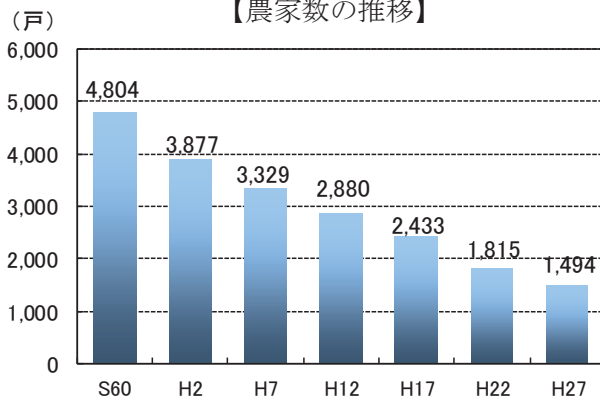
【産業人口の推移】



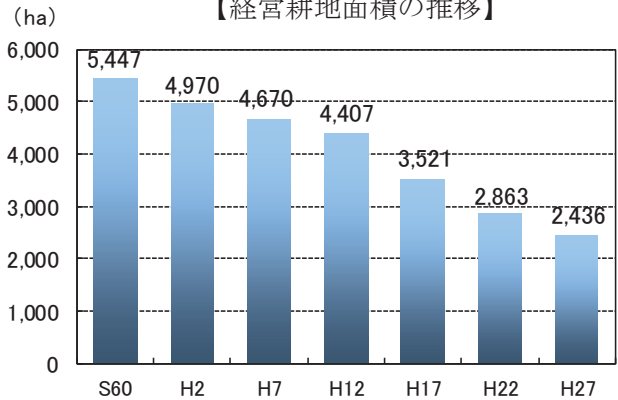
② 農業

農家数は減少が続いており、経営耕地面積についても減少が続いています。

【農家数の推移】



【経営耕地面積の推移】

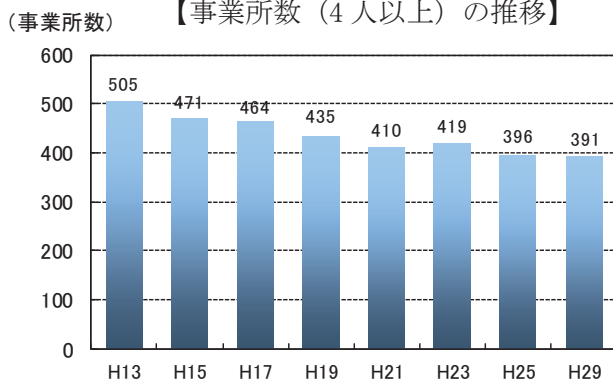


出典：農林業センサス

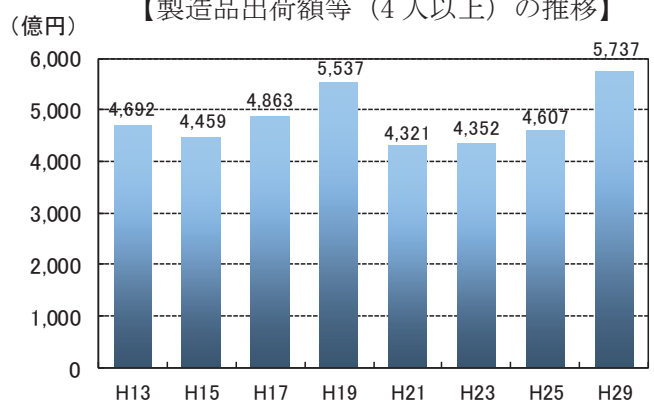
③ 工業

事業所数はやや減少傾向にあるものの、製造品出荷額等は近年では増加傾向にあります。

【事業所数（4人以上）の推移】



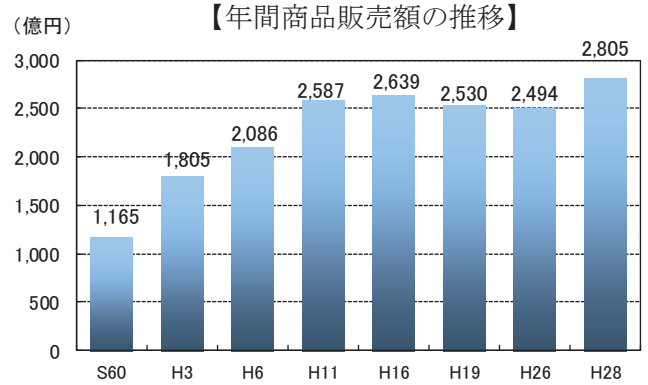
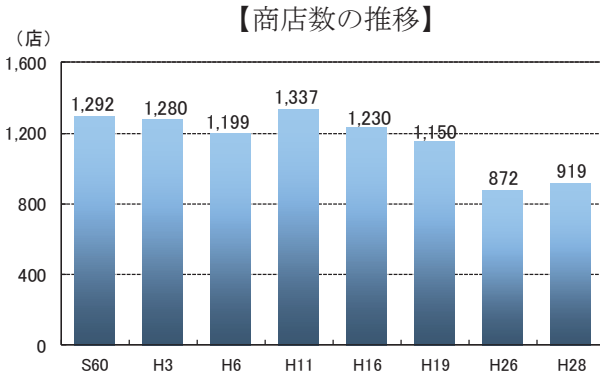
【製造品出荷額等（4人以上）の推移】



出典：工業統計

④商業

商店数は平成19年から26年にかけて大きく減少していますが平成28年に若干回復しています。また、年間商品販売額も平成28年に増加がみられています。

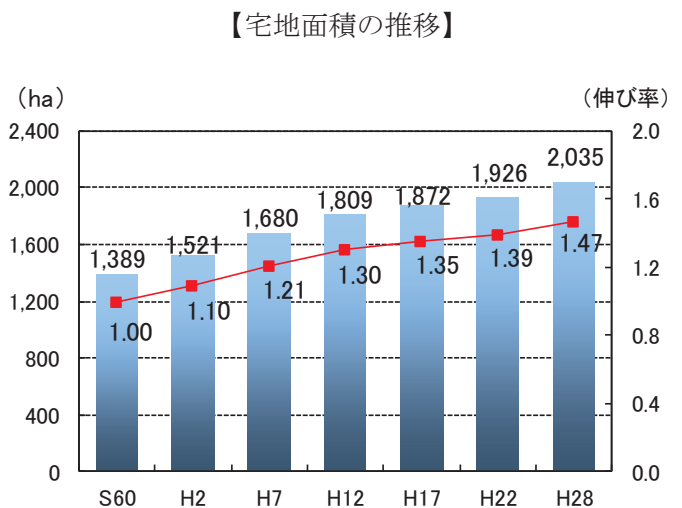
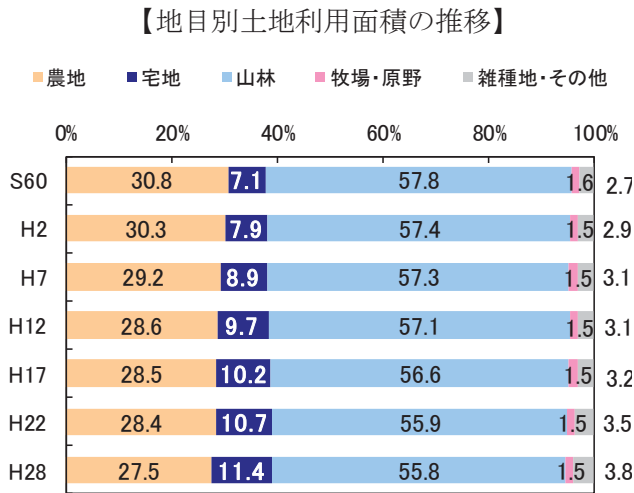


出典：商業統計、経済センサス

(3) 土地利用

①土地利用の推移

土地利用の内訳は、山地が半数以上を占め、また、農地が1/4以上を占めていますが、農地面積は年々減少しています。一方、宅地面積は年々増加しており、昭和60年からの30年間で47%の増加がみられます。



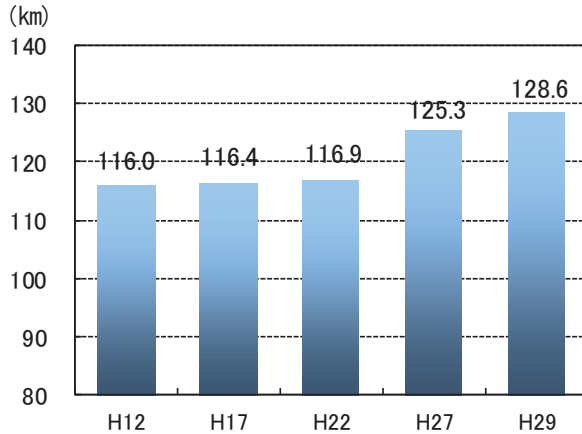
出典：石川県統計書

(4) 都市施設

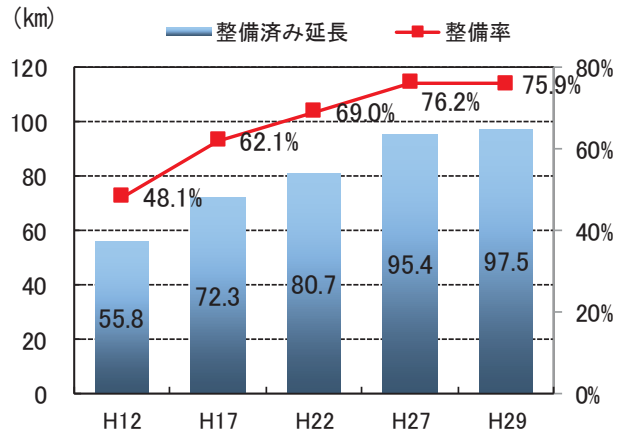
①道路

都市計画道路は、平成29年時点で65路線、128.6kmが計画されています。整備率は、平成12年は48.1%であったのに対し、平成29年では75.9%にまで上昇しています。

【計画延長の推移】



【整備延長および整備率の推移】

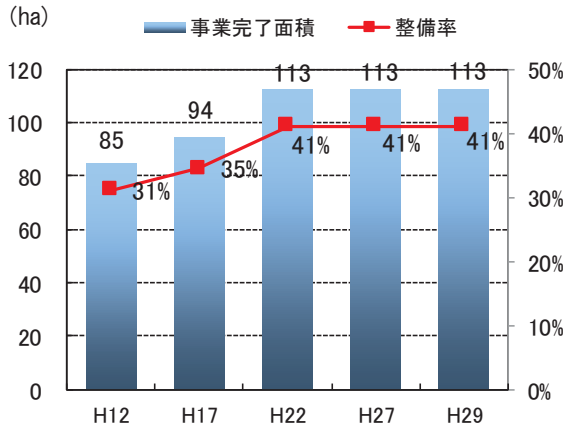


※H29は計画延長が増加したため、整備率は減少している
出典：白山市統計書

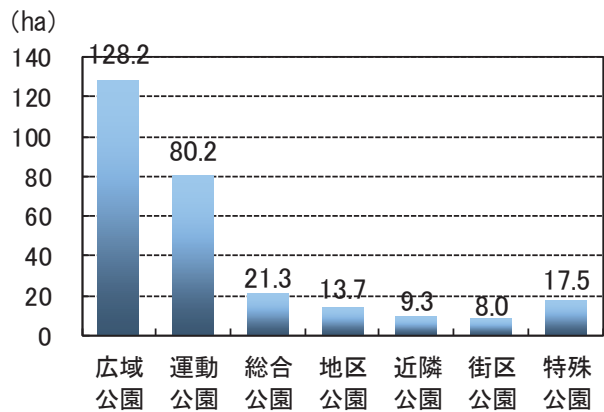
②公園

都市計画公園は、28公園、278.2haが計画されているのに対し、平成29年時点で41%が整備されています。内訳として、広域公園が128ha計画されていますが、整備率は17.7%となっています。一方で総合公園、地区公園、近隣公園、街区公園については整備率が高い状況です。

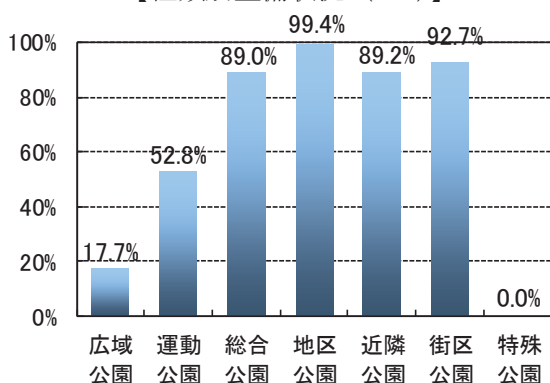
【整備面積の推移】



【計画面積】



【種類別整備状況 (H29)】

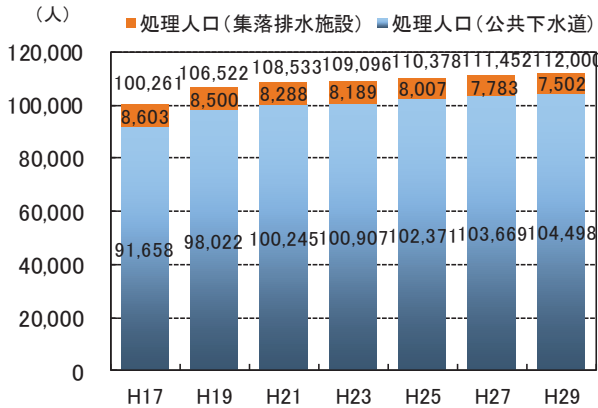


出典：白山市統計書

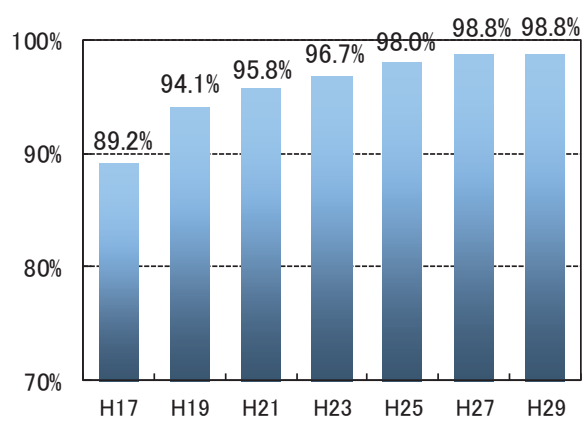
③下水道

下水道の処理人口(下水道および集落排水施設を利用できる人口)平成29年時点で112,000人、普及率(行政人口に対する下水道および集落排水施設を利用できる人口の割合)は、平成29年時点で公共下水道・集落排水施設合せて98.8%となっています。

【下水道の処理人口の推移】



【下水道の普及率の推移】



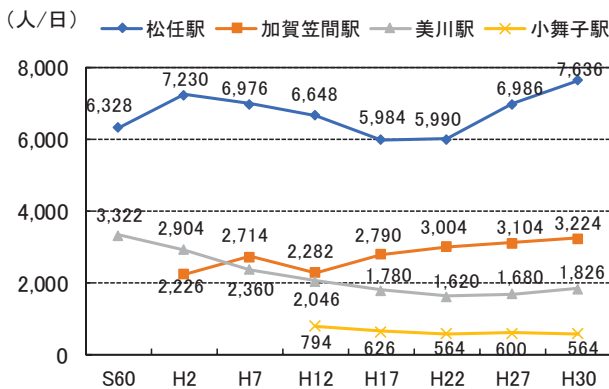
出典：白山市統計書

(5) 公共交通

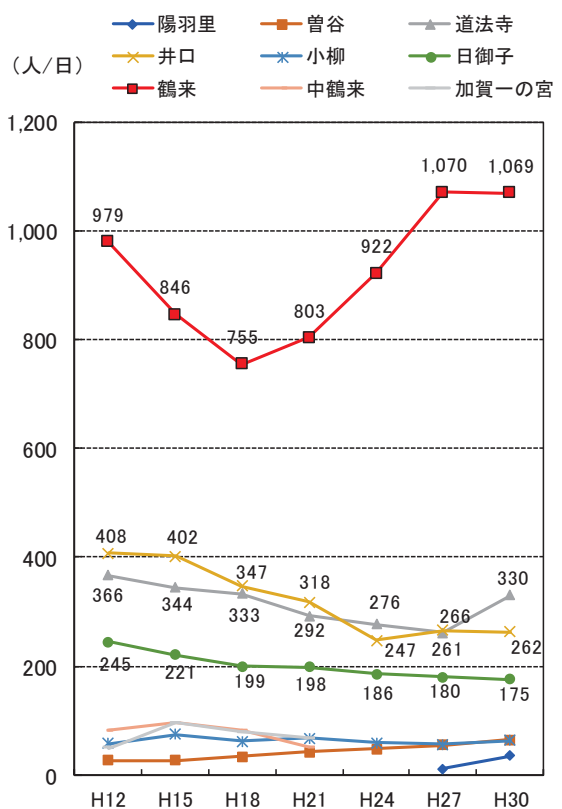
JR北陸本線は松任駅の利用が最も多く、大学や短期大学がある加賀笠間駅においても、乗降客数は堅調に推移しています。また、北陸鉄道石川線については、鶴来駅の利用が最も多くなっています。

バス交通は、コミュニティバス「めぐー」の利用は、平成30年度に最多になっています。

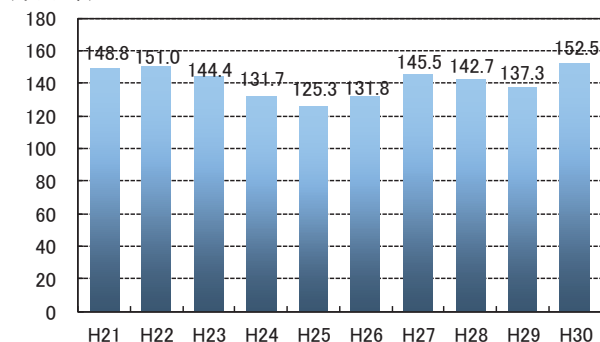
【JR北陸本線の乗降客数の推移】



【石川線の乗降客数の推移】



【コミュニティバスの利用者数の推移】



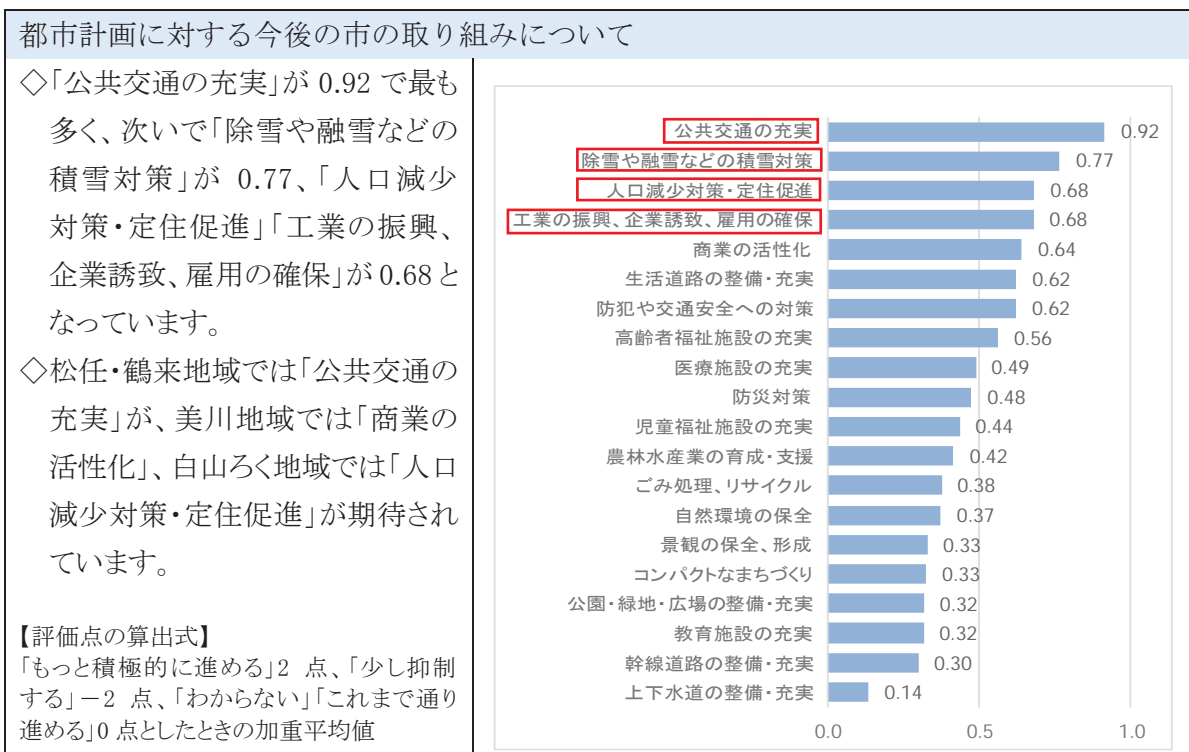
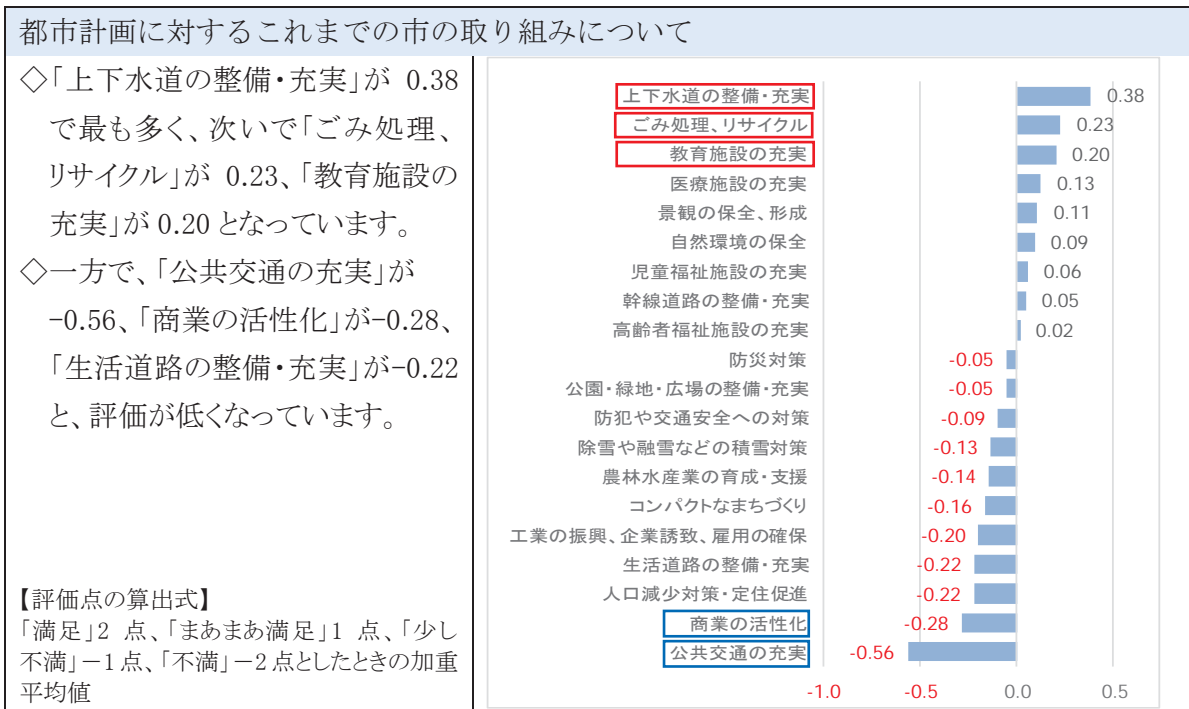
出典：白山市統計書

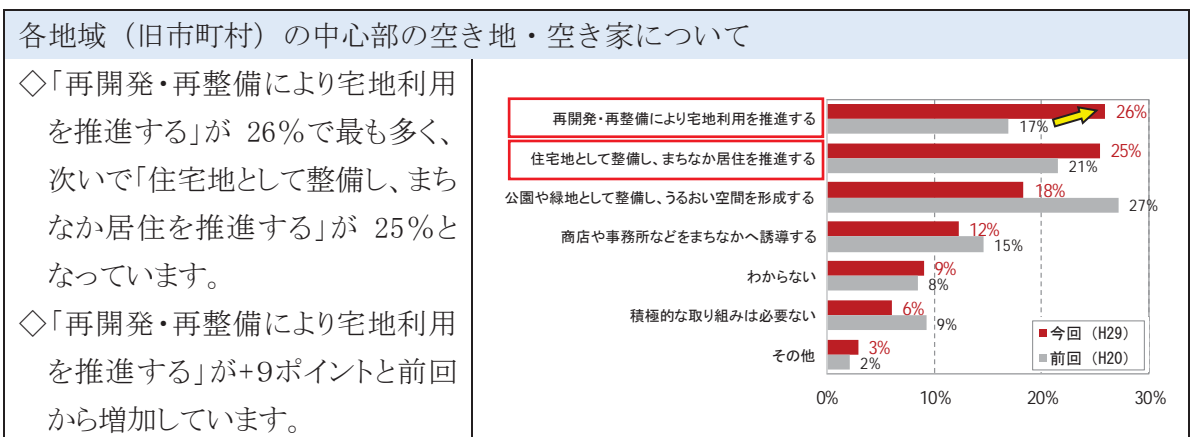
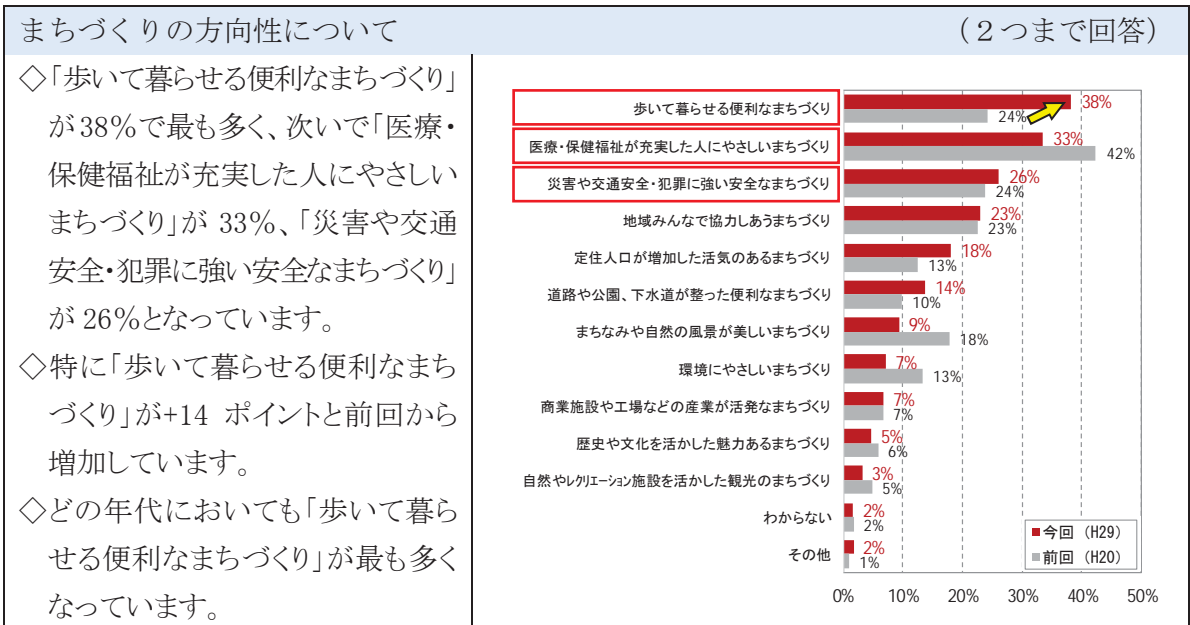
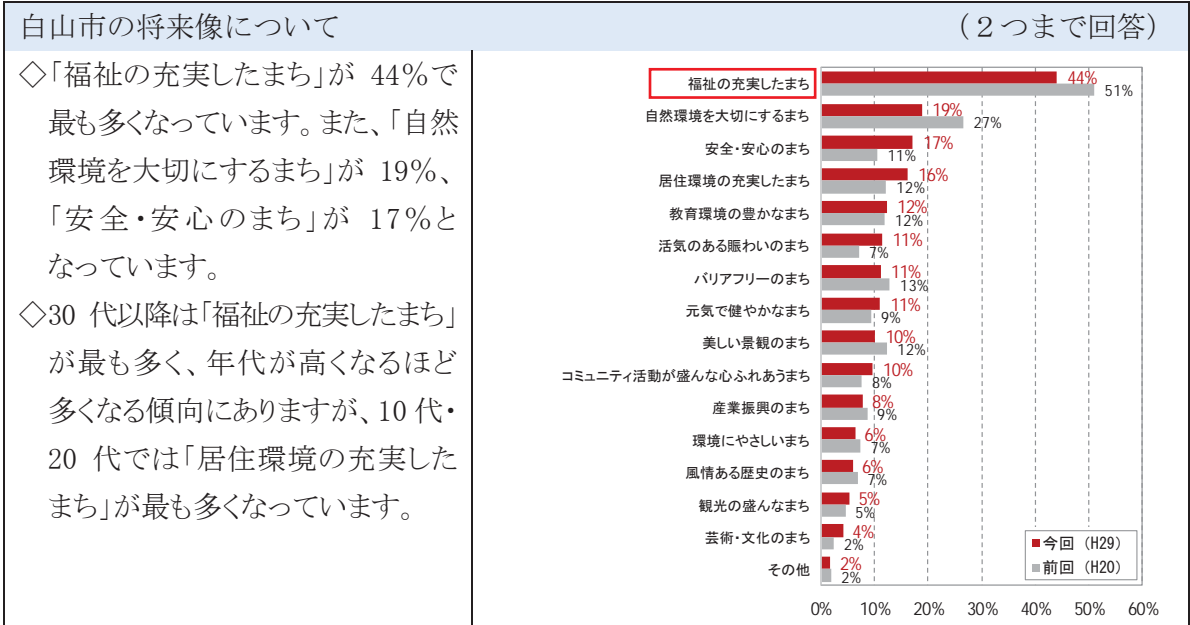
2. アンケート結果

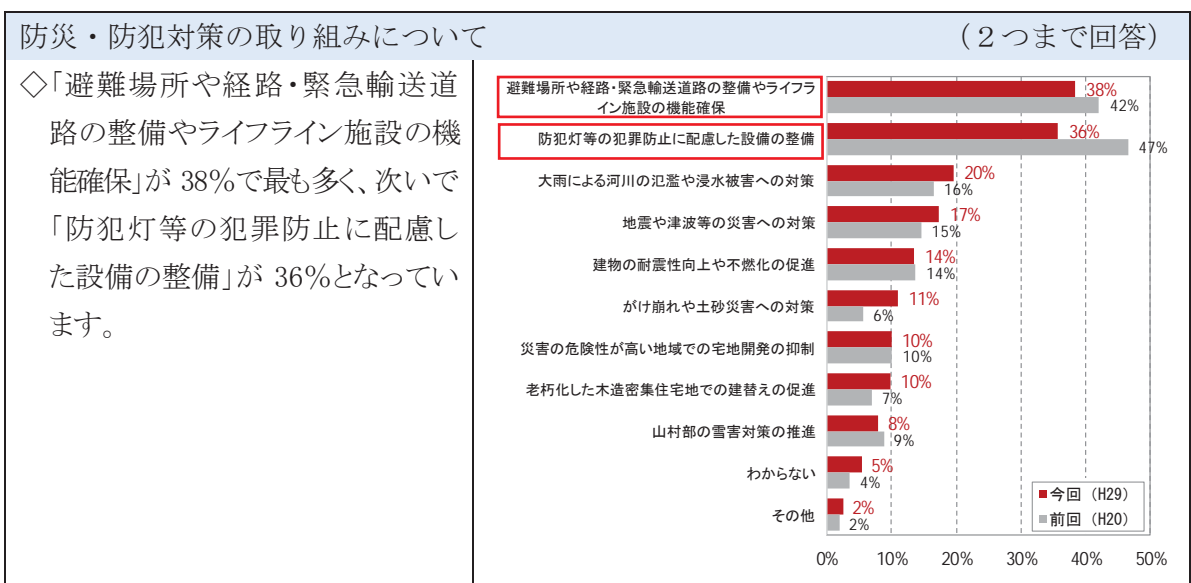
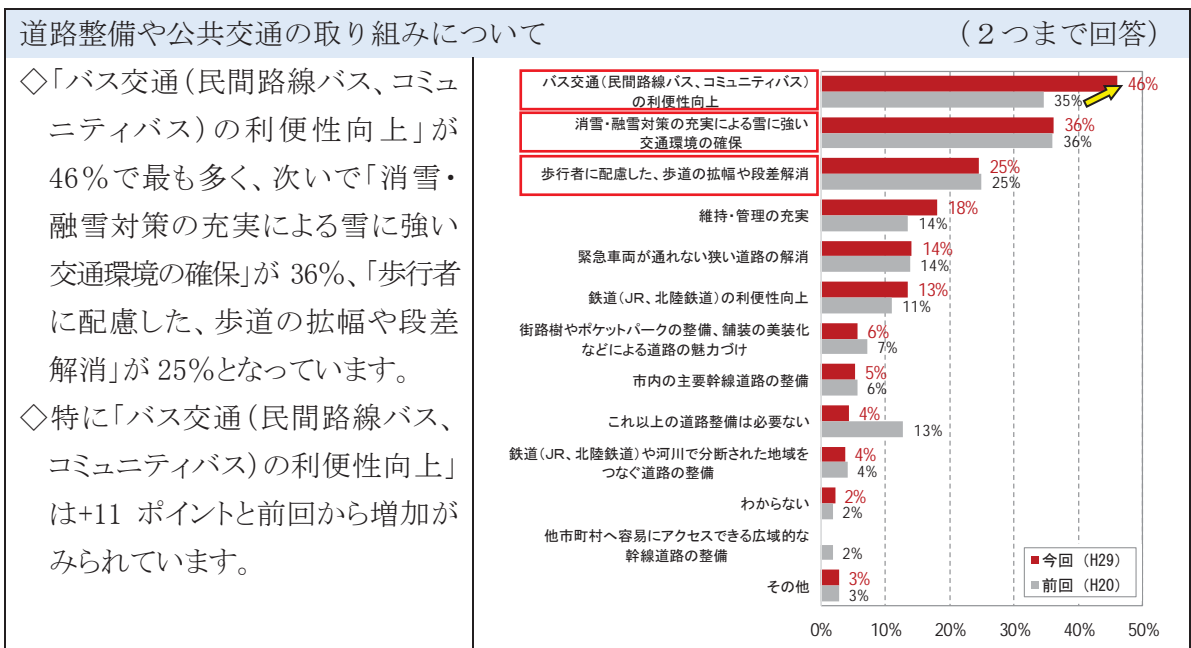
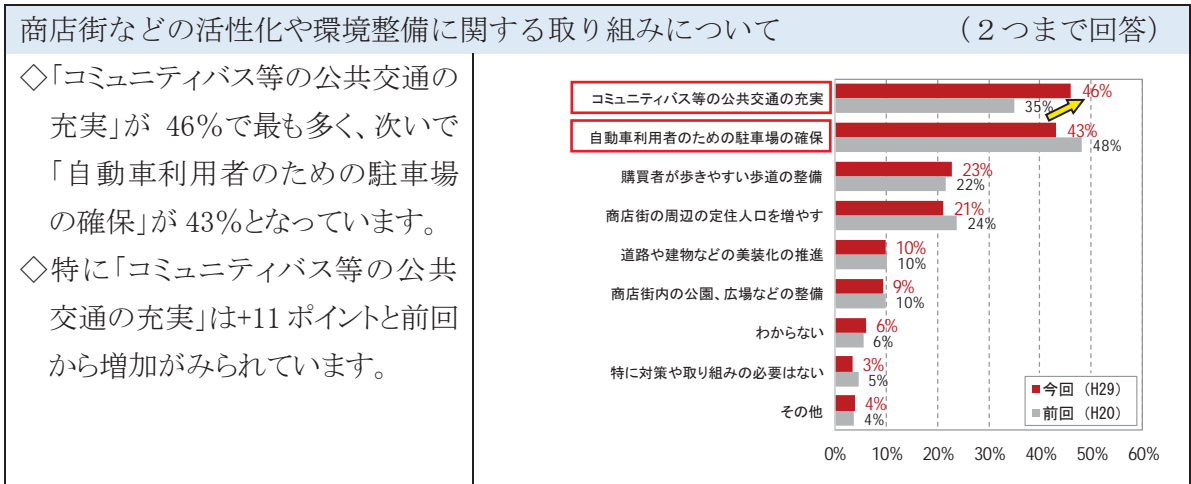
(1) アンケート調査の概要

- ・対象者 : 市内9地域毎に無作為抽出した16歳以上の市内在住者 計10,000人
- ・調査方法 : 郵送による配布・回収
- ・調査期間 : 平成29年12月15日～12月28日
- ・回収数 : 3,275票 (回収率33%)

(2) アンケート結果の概要







3. 白山市のこれまでの取り組みと今後の課題

項目	これまでの主な取り組み（前計画以降）	今後の課題
全般	—	<ul style="list-style-type: none"> ・減少に転じた人口の維持、定住促進や都市間の連携 ・コンパクトな市街地の形成
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画区域の再編（美川・鶴来地域における線引き制度の導入）（H24.6） ○まちづくり開発制度の導入（市街化調整区域の開発許可条例の制定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の混在を避けた、計画的かつ整序ある土地利用の推進 ・過度の郊外開発の抑制、集落の活力維持
市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ○区画整理（事業中）：横江町、松任北安田南部、松任駅北相木第二 ○区画整理（完了）：松任駅前地区、松任駅北相木、松任北安田、三浦・幸明町、山島地区新工業団地、曾谷町 	<ul style="list-style-type: none"> ・過度の市街地の拡大の抑制 ・市街地のスプロール・スポンジ化（空洞化）の抑制 ・既存の市街地の生活利便施設の充実 ・定住人口の確保、交流人口・関係人口の拡大 ・市街地間を結ぶネットワーク（道路、公共交通など）の充実
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな企業の誘致 ○工業団地の整備（山島地区新工業団地） ○◇道の駅「めぐみ白山」の整備（H30.4） 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる工業振興のための受け皿となる工業用地の確保・拡充
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○松任駅の橋上化・自由通路の整備（H25.2） ○白山総合車両所の開設（H26.4） ○北陸鉄道石川線新駅 陽羽里駅の供用（H27.3） ◇北陸新幹線金沢開業（東京～金沢）（H27.3） ○コミュニティバス「めぐーる」鶴来地域ルート拡大、野々市市内乗り入れ、75歳以上の無料化 ◇北陸新幹線の敦賀延伸（事業中） 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進による収益・現行サービスの確保 ・北陸新幹線供用後の在来線の確保、利便性の向上 ・鉄道駅までの移手段の確保
道路	<ul style="list-style-type: none"> ◇金沢外環状道路（海側幹線側道部）の供用（H25.12） ◇加賀海浜産業道路の一部事業化（H28～） ◇（主）金沢美川小松線の供用（H28.12） ○（市）五歩市北成線の整備（事業中） ○金剣地下道の開通（H27.3） ◇（主）小松鶴来線の整備（天狗橋の架け替えなど）（H24.10） ◇（主）鶴来美川インター線の延伸（H25.12） ◇（一）松任美川線の拡幅（H26） ◇白山ICの開設（H25.4） ◇国道8号下り車線の3車線化（松任拡幅） 	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の整備によるネットワークの形成 ・既存道路の道路構造物（道路、橋梁、トンネルなど）の老朽化への対策 ・H30大雪時の道路としての機能低下、災害に強い道路ネットワークの形成 ・生活道路における安全性の確保
公園	<ul style="list-style-type: none"> ○緑の基本計画の策定（H23.3） ◇白山ろくテーマパークの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園設備の充実、地域住民による維持管理 ・設備の老朽化、管理費の増加
供給処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ○上下水道施設の更新・耐震化 ○農業集落排水施設の公共下水道への統合 ○環境の杜おがわ（最終処分場）の整備（H30） 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業集落排水施設利用者の減少 ・既存施設の老朽化への対策
河川・砂防・海岸	<ul style="list-style-type: none"> ○倉部川改修事業の完了（H26.3） ◇手取川・安原川・高橋川の改修促進 ◇石川海岸の整備促進 ◇白山砂防の整備促進 ◇手取川総合水系環境整備事業の完了（H23） 	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨による被害が全国的に多発、水害への関心の高まり ・砂浜の減少、海岸線の後退対策

○：市の施策 ◇：国・県の施策

項目	これまでの主な取り組み（前計画以降）	今後の課題
教育・文化・観光	<ul style="list-style-type: none"> ○松南小学校の整備（H24.9）、朝日小学校の整備（H25.3）、明光小学校の整備（H27.7）、河内小学校の整備（H28.12）、美川中学校の整備（H25.11） ○市内小中学校の耐震化完了（H28.3） ○地区公民館などの移転・整備 ○松任文化会館の大規模改修（H30.7） ○◇道の駅「めぐみ白山」の整備（H30.4） ○白山開山1300年記念事業（H28～30） ○白山手取川ジオパーク 日本ジオパーク認定（H23.9） 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化や宅地開発などによる児童・生徒数の推移などの状況を考慮した学校施設の適正配置や通学区域の見直しの検討 ・市内各地に存在する集会施設の維持・充実と老朽化に伴う新築・改築などに対する支援 ・北陸新幹線敦賀延伸を見据えた、市内各地の観光拠点の充実
医療・保健・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉ふれあいセンターの整備（H26） ○地域密着型特別養護老人ホームの整備（H22→H29で3箇所整備） ○認知症高齢者グループホームの整備（H22→H29で3箇所増加） ○障害者グループホームの整備（H22→H29で15箇所増加） ○就労系事務所の増加（H22→H29で8箇所増加） ○子育て支援施設の移転・増改築・改修・整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる高齢化に対応できる医療・保健・福祉体制の充実 ・地域バランスに配慮した福祉施設の充実 ・老朽化が進む保育施設の増改築や改修の促進
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○工場排水、河川水の水質調査や、地下水位の調査の実施 ○松任石川環境クリーンセンターの延命化（H28） ○環境の杜^{もり}おがわ（最終処分場）の整備（H30） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全・保護と活用 ・環境にやさしい交通体系や社会経済システムの構築 ・ごみ処理に関する施設の適正運営による循環型社会の構築
景観	<ul style="list-style-type: none"> ○地区計画の設定（山島台地区：H23、三浦・幸明地区：H25、曾谷地区：H25、鹿島平地区：H27、横江地区：H28、松任北安田南部地区：H29） ○景観まちづくり協定の締結（鶴来本町通り：H27、松任北安田南部地区：H29） ○国道157号沿道における屋外広告物に関する協議会を設立（H25） ○白峰地区の国の重要伝統的建造物群保存地区の選定（H24.7） ○北陸新幹線沿線における屋外広告物の規制強化（H30.4） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな景観まちづくり協定の締結 ・幹線道路沿道や北陸新幹線沿線における屋外広告物の規制誘導 ・歴史的まちなみ景観の保存
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○総合防災マップの作成（H24） ○土砂災害ハザードマップの作成（H22） ○「公共施設等総合管理計画」の策定（H27.3） ○消防救急無線のデジタル化（H27.10） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震・津波・土砂災害・風水害・豪雪などの自然災害に対する備えの充実 ・自助・共助が機能する自然災害に強い地域づくり ・市民の防災意識の醸成
交通安全・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○JR駅における駐輪場の整備 ○グリーンベルトの設置やゾーン30の指定 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が一体となった交通安全・防犯活動の推進 ・市民の交通安全や防犯に対する意識向上

○：市の施策 ◇：国・県の施策